

平成18年1月26日 第13回基本政策部会

「みち」の多様な機能 の復権について

1. みちの機能
2. みちへの多様なニーズ
3. 改めて注目されるみちの機能
4. 新たな取り組みの例

国土交通省 道路局

道路の機能

■ ネットワーク機能

- 交通機能、地域連携、防災（防災活動、避難、代替経路）

■ 空間機能

- 市街地形成、環境空間（緑地、通風、採光）、防災空間、収容空間



自動車交通の効率重視の中で、見失われつつある「みち」の多様な機能があるのではないか？

江戸時代の道



「朝鮮人来朝図」



きだいしょうらん
「熙代勝覧」



「江戸図屏風」

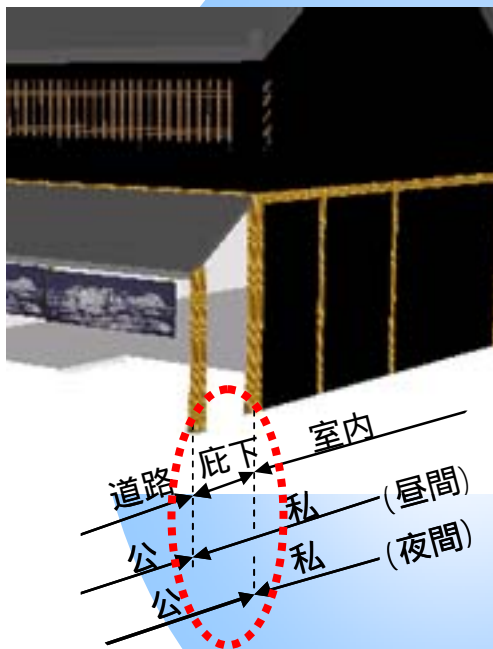
祭や商売、大道芸等を行い、また、人が集まり遊ぶ生活空間となっていた

我が国の「みち」は、例えば欧州における「広場」のように、生活やイベントの場として多様な機能を担っていた

ひさした 庇下は官民共同の空間

江戸時代、庇下は“半官半民”の柔軟な使われ方

< 官民共同で利用した道 >

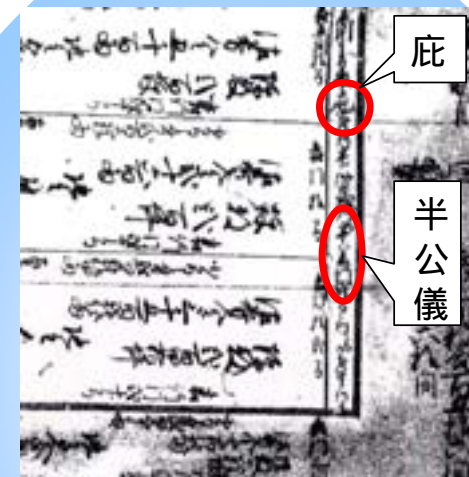


庇下は、昼間は店舗の一部(私)、夜間は道(公)として利用された



庇下での商売の様子

まちぶれ
< 庇下に関する町触* >



* 幕府や大名が町方に布告した一種の法令

「沽券絵図」

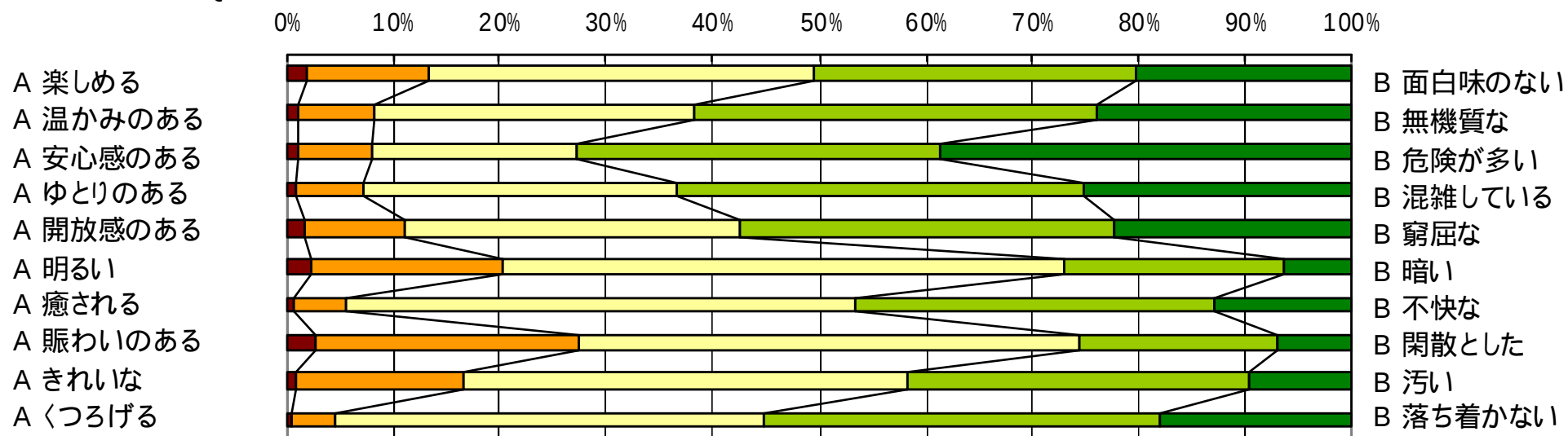
江戸町奉行の命令で作成された沽券絵図（地籍図）にも、庇下は半公儀地（半分は公の地）と記載

当時(江戸時代)の庇下は、半分为公の地と法令で定められていた

現代の「みち」に対するイメージ

- 道路に対するイメージは、危険、無機質、落ち着かないなど、どちらかといえばネガティブなものが多い

Q あなたが道路に対してもっているイメージは、以下の表現のいずれに近いですか？



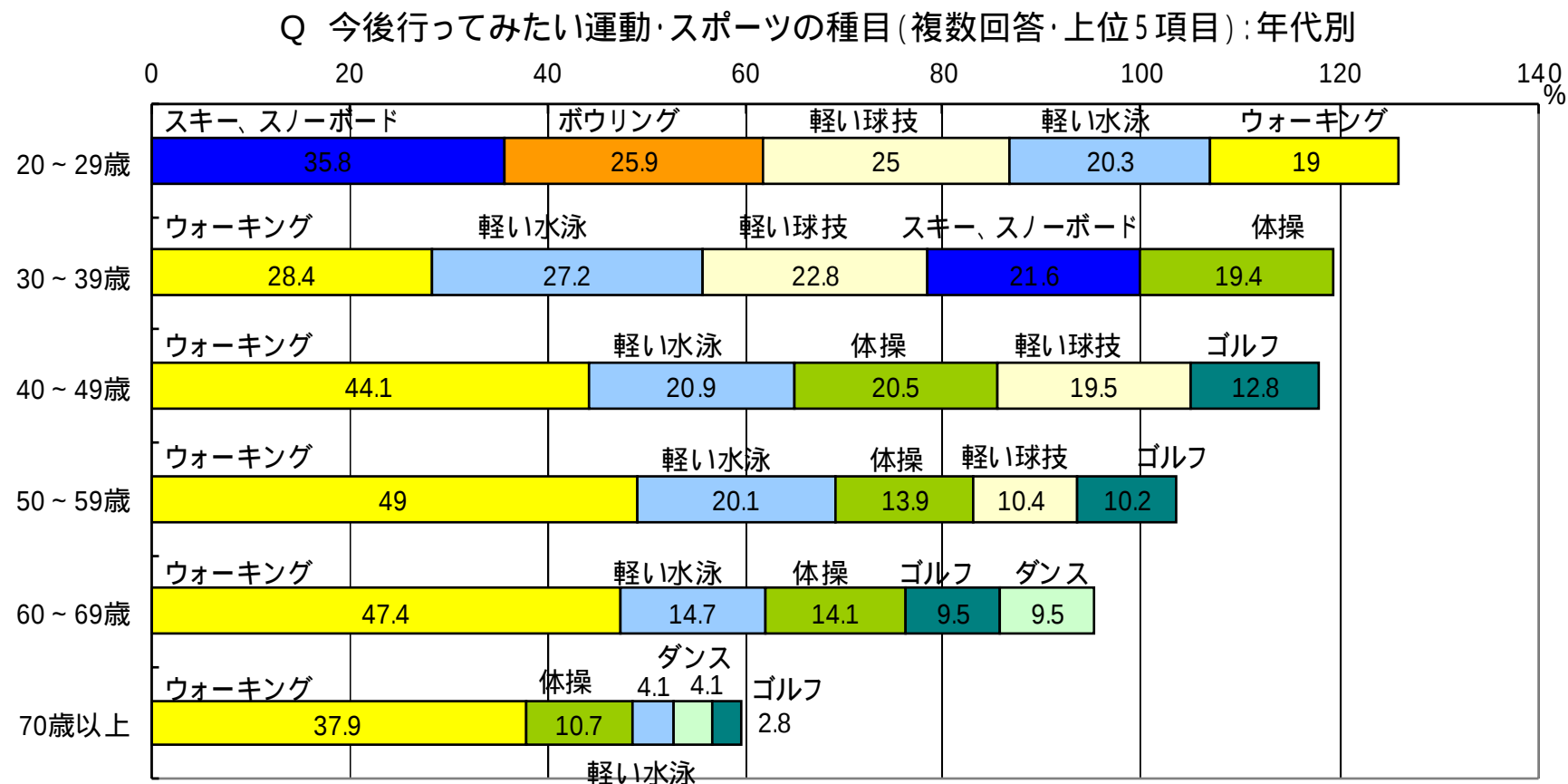
■ Aに近い ■ どちらかというAに近い □ どちらでもない ■ どちらかというBに近い ■ Bに近い

インターネット調査により、20-69歳の男女のサンプルを抽出(人口、居住地を国勢調査に合わせ補正)
 調査期間: 2006年1月20日~24日
 有効サンプル数: 1,174件

現代の生活における「みち」へのニーズ

例1：健康、余暇、安らぎの指向に応える

■ 団塊の世代におけるウォーキングの人気



内閣府：「健康とスポーツに関する世論調査」(平成16年度)

現代の生活における「みち」へのニーズ

例2:都市を楽しむイベント「東京大都市マラソン」

- 男女3万人の参加見込み
- 関連イベントとして、
展示博覧会、
東京の芸術文化演出、
各種フェスティバルを展開
- 都心部の観光名所を巡り、記録
の出せるコースを検討中

東京都発表資料

NYマラソン視察——
「沿道でイベントを」
▶11日発言

(六日に視察したニューヨークシティ・マラソンは非常に参考になりました。先導中に乗せてもらって、スタート地点からフィニッシュまでの全コースを回りまして、大会の雰囲気を感じることができました。)

周辺のそれぞれの地域の特色に合わせていろいろな行事をやってみて、バンドで演奏したりね。(出場している自分の奥さんや息子や子どもたちを見守るために市民が出て、ノミカード

を立って、見送ったりまた沿道で応援する。中継は、地域の町会や商店街にお願いして、いろいろなイベントを沿道で盛り上げる。参加する人とは、様々な沿道の文化を楽しむながら走れると思います。

——東京マラソンは同時期に行われる博覧会、フェスティバルの側から批判の聲が上がっているが、一週間前にはまだいいです。

三十、四十のランナーは、私は一週間前には、足が痛くて走れません。私はたぶん走れないと思う。お互いに支え合って盛り上がる方法はあると思います。

——小泉首相が道路特定財源の一般財源化を指示した。角さん(田中角栄元首相)の思いが、結局、財源として使われるのは問題があると思う。

列島改造論に活用されず、たのしみがあるほど、かなりのスピードで道路建設は整備された。しかし、その後は、肝心の首都圏のインフラは未整備だった。金がないというのなら、二つの現状、外資、国庫、国庫が、必ずしもできていない、それに集中的に使ってもいい。私は教育や福祉をしないが、しろにするわけではないが、全然カネの通り、財源として使うことは問題があると思う。

石原知事
会見ファイル

記者会見の模様は東京MXテレビで、原則として毎週金曜日の午後3時から生中継で放送、同10時半から、翌土曜午前7時半からの2回、録画放送されます。

東京新聞 平成17年11月23日朝刊(23面)

現代の生活における「みち」へのニーズ

例3:「昭和」への憧憬

■ 昭和の町の賑わい

平成17年11月27日 中日新聞

昭和30年代がブームです。携帯もインターネットもないのに、なぜかしら懐しく、豊かだった。あのころへの憧れは、恐らくただの懐古趣味ではありません。

小麦粉と卵が焼ける甘いにおいに酔い、時間旅行が始まりました。大分県豊後高田市は「昭和」と、とりわけ30年代に的を絞ったまちおこしに成功し、年間二十万人を超える観光客でにぎわっています。

香りのまは「昭和の町」への入り口にある。とろ焼きの笑顔販売でした。店先では通いの若い職人が、「創業五十年」の看板と手焼きの味を守っています。

引き戸の中の物語

「昭和の町」が軌道に乗る前は、「通りで鉄砲を撃つても死人は出ない」といわれた典型的なシャッター商店街でした。伝統あるとろ焼き店も後継ぎには恵まれず、老店主は一代限りで終わりにしてしまおうとさえ思っていました。

社

説

た。その前に最後の望みをお公衆に託してみたが、一こやあつた」とと名乗り出たのが、当時高校卒業ばかりの若者だった。

とろ焼き店が三軒先のお茶屋の先代は、戦車一両を借り切って、京都から手土産を買って付けた。そのまた五軒先の十二代、百年続いた種物商は、寒冷地野菜のキャベツが九州でも栽培できるよう、初めて品種改良した店です。筋向かいの銀行はその昔、九州一の大金持ちが個人で建てた金蔵でした。

綿延五百五十坪の「昭和の町」は、観光地としての装飾は最小限にとどめたという。一見何の変哲もない街並みです。その代わり、血が通うあきんどたねがわりを必死で守る者たちの情、ほとんどの現役の商店です。

現役だから、昔懐かしい一本レールのガラス引き戸の向こうには、家々に固有の物語の教々が、今も現在

あきんどたね 現代人が探したい、あの忘れ物とは、何を埋め尽くす機密な道の中で人や家族が織り込まれた物語のかもしれま

昭和30年代、焼酎いしはって若者が、を掻きめながら、

夕日、

大分県豊後高田市「昭和の町」

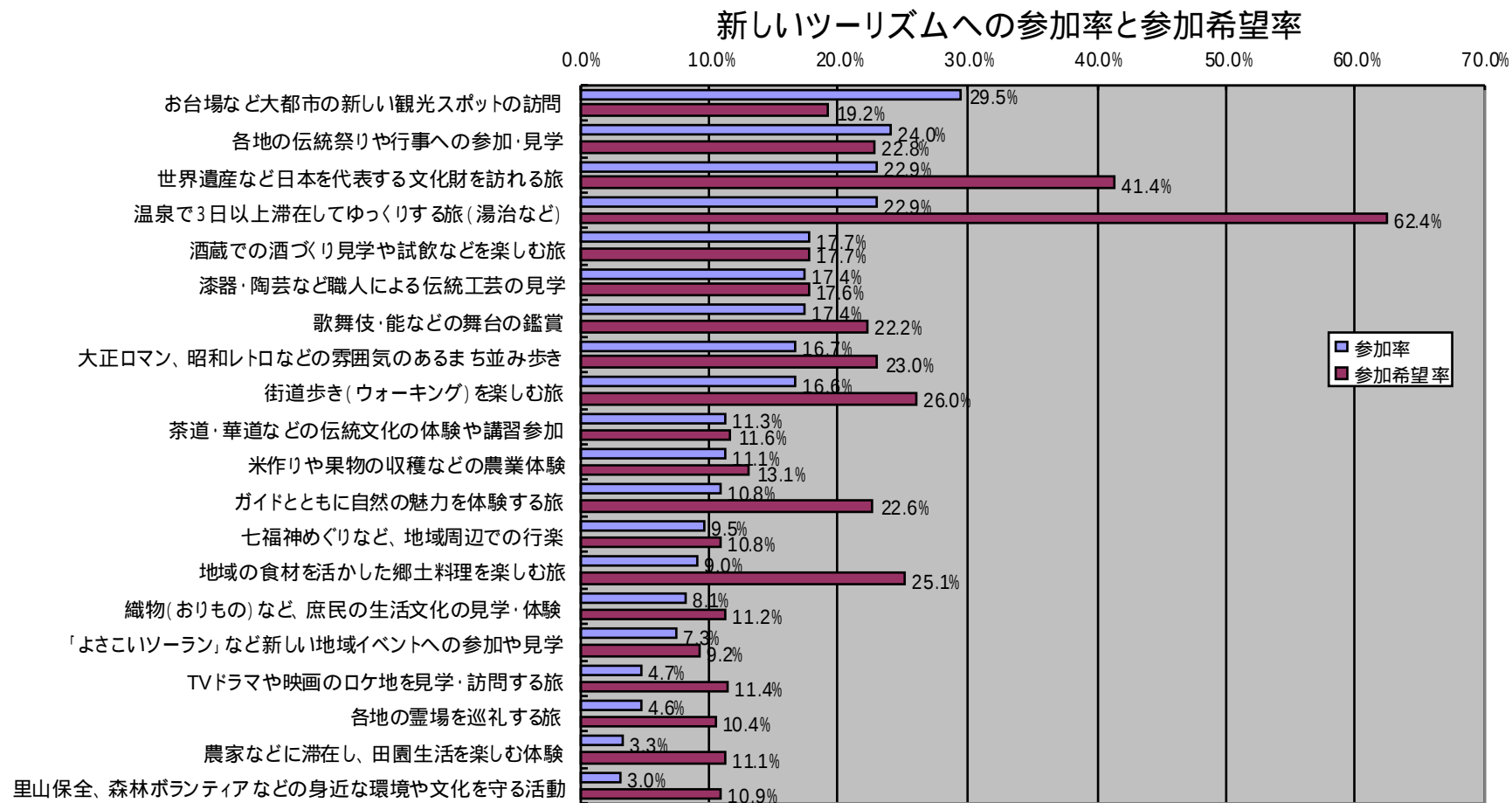
高齢化と老朽化の進む寂れた商店街を「昭和30年代」をテーマに再整備。その結果、観光客が急増。年間25万人を超える観光客で賑わっている。2005年地域再生・地域自慢大会優勝



現代の生活における「みち」へのニーズ

例4：日常を体験する観光へ

- 今後のツーリズムにおいては、温泉や世界遺産とともに街並み歩きや地域の魅力を体験する旅が注目されている

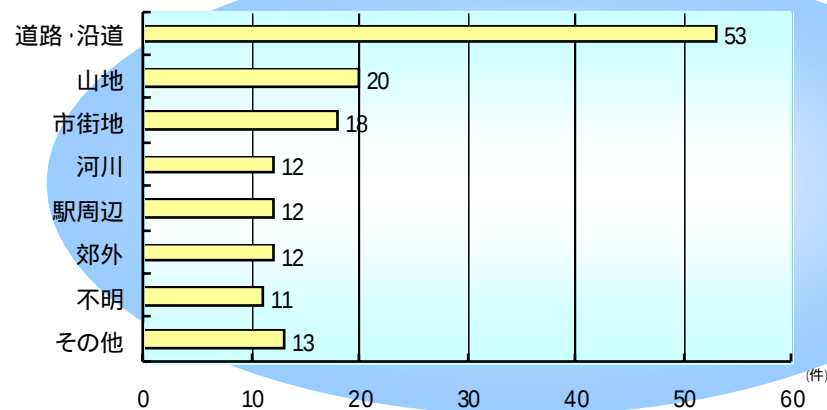


出典 「レジャー白書2005」(財)社会経済生産性本部

現代の生活における「みち」へのニーズ

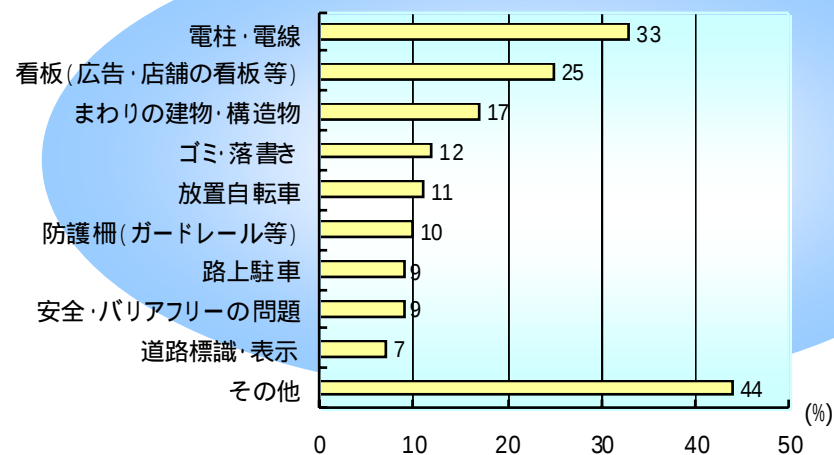
例5：沿道との一体的取り組みが求められる景観向上

<好ましくない景観>



道路・沿道の景観が、突出して好ましくないとされている

<残したくない景観>



看板や建築物など沿道の課題や、放置自転車や落書きなど道の使い方にも課題が少なくない

<残したくない景観例>



乱立する看板



違法看板



壁への落書き